

前期基本計画 平成30年度 政策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

1. 政策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	目指すまちの姿は「雇用環境が充実し、みんなが安心して生き生きと働けるまち」です。このため、滝沢市の特性や強みを活かし、地域資源を活用して顧客ニーズに応じた価値の創造や、産学官連携や異業種連携を推進し、競争力の高い産業の育成を目指します。この結果、雇用拡大と産業振興を図り、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します。
--	---

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	53.5	54	55	56	57	57	D
			53	53.5	55.1	51.9	51.9	△45.7
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	45	D
			40.4	40.4	36.3	34.6	34.6	△89.1
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	A
			22	18	18	37	37	450.0
2	幸福 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6
3	暮らし 03020000 企業集積と産学官連携の推進 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	25	A
			19	21	19	25	25	100.0
4	幸福 03020000 企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	45	D
			40.4	40.4	36.3	34.6	34.6	△89.1
5	暮らし 03030000 農林業の振興 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %	55.2	55.7	55.7	55.7	55.7	55.7	A
			55.2	58.6	58.6	58.6	58.6	680.0
6	幸福 03030000 農林業の振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	45	D
			40.4	40.4	36.3	34.6	34.6	△89.1

前期基本計画 平成30年度 政策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致や産学官連携、異業種連携については、持続的かつ計画的に推進し、盛岡西リサーチパークの分譲完了後、イノベーションパークの誘致など一定の成果があり目標を達成したものと考えます。 特産品や地域資源を活用した地域ブランドの創出など新たな価値の創造については、「たきざわグリーンワークス」や「チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部青年部」、「商工会青年部」など次代を担う青年が活動を活性化し、技術の継承や事業承継、特産品開発など新たな価値の創造に取り組みました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した戦略的な産業振興 企業集積と産学官連携の推進 農林業の振興 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した戦略的な産業振興については、ビッグルフ滝沢「たきざわキッチン」の指定管理者や滝沢市観光協会と連携し情報発信やイベントの開催を実施いたしました。 企業集積と産学官連携の推進については、イノベーションセンターやイノベーションパークに入所又は立地につながっており、またセミナー等の開催を実施いたしました。 	

3. 政策の実現に向けて平成30年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> T P P11や日欧E P A及び米国との貿易交渉による農産物の輸入自由化による影響分析が必要となっています。 森林環境譲与税の配分による事業実施に向けた調査研究が必要です。 IoT社会に向けたITと各業種との交流が進んでいます。 AIやビッグデータの活用に向け、システムエンジニアの不足が深刻化しています 企業においては、働き方改革、人材の確保の視点から、ニアショアへの意識が高くなっています。 全国的に中小企業においては、事業承継が課題となっています。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化や担い手の不足が進み、対策が必要です。 滝沢市IPUイノベーションセンターが満室状態となり、パークの区画販売をメインとした集積戦略が必要です。 滝沢市IPUイノベーションセンターと市内企業とのマッチングをコーディネートする人材の育成が必要です。 滝沢市情報通信産業集積振興基金制定により、時代に対応するための滝沢市IPUイノベーションセンターの施設又は設備の修繕又は更新への迅速な対応が可能となりました 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光振興や商工振興、企業誘致については、多様化する社会ニーズを的確にとらえ、戦略的に推進することが必要です。 農林業の振興は、輸入自由化など国際レベルの動きをとらえ効果的な施策を展開する必要があります。また、労働力不足の対策としてスマート農業の調査研究及び導入の検討が必要です。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡西リサーチパークが完売し、今後の誘致に向けた新たな事業用地の確保に向けた検討が必要です。 森林環境譲与税を活用した資源循環型の森林の活用方法の検討が必要です。 	

